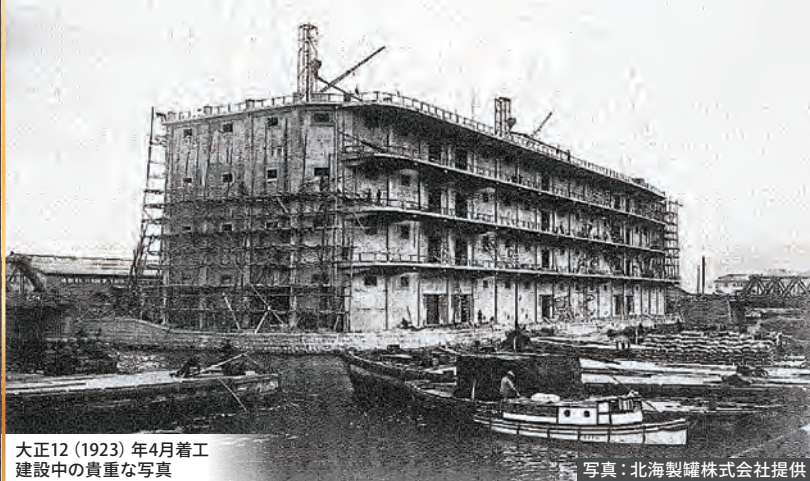


繋げるために
歴史的価値を未来へと



大正12(1923)年4月着工
建設中の貴重な写真

写真:北海製罐株式会社提供



参加無料
申込不要

定員400名
(先着順)

旧第3倉庫 100周年記念フォーラム

令和6年 **10月31日** (木)
午後6時～午後8時
〔開場 午後5時30分〕

小樽市民センター・
マリンホール
(小樽市色内2丁目13-5)

プログラム

- 主催者挨拶
- 歴史的建造物を事業活用した事例紹介
- パネルディスカッション

大正13年10月31日、北海製罐(株)小樽工場第3倉庫(現小樽市所有)が完成しました。この度、旧第3倉庫が竣工から100周年を迎えることを記念し、今後の本格活用をテーマにしたフォーラムを開催します。フォーラムでは旧第3倉庫の歴史的価値を再確認するとともに、今後の本格活用に向けて、パネルディスカッションを通じて歴史的建造物の有効活用の可能性や、活用に向けた課題などを議論します。

登壇者

講師・
コーディネーター

駒木 定正氏

北海道職業能力開発大学校
特別顧問

講師・パネリスト

相内 学氏

星野リゾート 北海道事業グループ
ディレクター 北海道統括総支配人

パネリスト

福島 慶介氏

NPO法人 OTARU CREATIVE PLUS
専務理事

パネリスト

迫 俊哉

小樽市長

YouTube
ライブ配信

主催 小樽市

後援 NPO法人 OTARU CREATIVE PLUS、小樽商工会議所

《問い合わせ》小樽市総合政策部官民連携室 電話:0134-32-4111 (内線524) FAX:0134-22-6727



旧第3倉庫 100周年記念フォーラム

プログラム

開演 18:00~18:10

主催者挨拶 迫 俊哉 (小樽市長)

第1部 18:10~18:50

歴史的建造物を 事業活用した事例紹介

〈講師〉

駒木 定正氏

(北海道職業能力開発大学校 特別顧問)

相内 学氏

(星野リゾート 北海道事業グループディレクター
北海道統括総支配人)

～ 休憩 10分間 ～

第2部 19:00~20:00

パネルディスカッション 「旧第3倉庫の利活用に向けた 可能性と課題」

〈パネリスト〉

相内 学氏

(星野リゾート 北海道事業グループディレクター
北海道統括総支配人)

福島 慶介氏

(NPO法人 OTARU CREATIVE PLUS 専務理事)

迫 俊哉

(小樽市長)

〈コーディネーター〉

駒木 定正氏

(北海道職業能力開発大学校 特別顧問)

駒木 定正氏

講師・コーディネーター

1951年 釧路生まれ。近畿大学理工学部建築学科を卒業。一級建築士の資格を取得。北海道大学において「明治前期の官営幌内炭鉱と幌内鉄道の建築に関する歴史的研究」で博士(工学)の学位を取得。アメリカ・マサチューセッツ大学とアイオワ州デモインで講演(日本国総領事館招聘)。住総研・研究選奨受賞。小樽市文化財審議会会長、小樽観光大学校運営委員会委員などを務める。北海道新聞社から『小樽の建築探訪』など著書多数。

北海道職業能力開発大学校 特別顧問



相内 学氏

講師・パネリスト

1973年 千葉県生まれ。札幌学院大学卒。道内ホテル勤務を経て、2006年に星野リゾート入社。バブル崩壊で破綻した「トマム」に同社が経営参画した直後からマーケティング責任者として経営改善に奔走。その後、全施設のチャネル戦略とリゾートブランドのディレクターを兼務し、2021年から現職。旧小樽商工会議所を再整備した「OMO5小樽 by 星野リゾート」の運営にも携わる。

星野リゾート 北海道事業グループディレクター
北海道統括総支配人



福島 慶介氏

パネリスト

1977年 小樽生まれ。建築家/クリエイティブディレクター。東京大学大学院建築学専攻博士課程単位取得退学。小樽と東京・横浜を行き来しながら建築を軸に活動。建築設計をはじめとして、映像制作やグラフィックなど横断的にデザインを続ける一方で、それらを活かしたまちおこしを模索。2009年には小樽市指定歴史的建造物「旧岡川薬局」を買取り、自らが代表を務めるN合同会社で利活用を行う。国内外で様々な展示経歴があり、大学での講義をはじめとして各種セミナーでの講演も数多くこなす。

NPO法人 OTARU CREATIVE PLUS 専務理事 / 株式会社福島工務店
代表取締役社長 / N合同会社 代表社員 / 有限会社福島商事 取締役



迫 俊哉

パネリスト

1958年 小樽生まれ。高崎経済大卒。1982年に小樽市入庁。総務部企画政策室長、総務部長、教育部長などを歴任し、2018年に小樽市長に初当選。子育て支援策の充実、学習環境の改善、歴史的な建造物で形成される個性的な街並みを生かしたまちづくりなど、小樽の可能性と魅力をひき出すことを重点公約に現在2期目。

小樽市長



主催 小樽市